



創造みらい半田 岩田 玲子

### 高齢者の交通安全 対策

**問** 高齢者が交通事故に巻き込まれ、亡くなられるという、大変心が痛む事故が多発しています。超高齢社会で、年々増加傾向にある高齢者の交通事故に対して、半田市の問題意識はいかがですか。

**答** 問題であると意識しており、様々な対応をとっていききたいと思っています。

**問** 免許証を持っていない人等、交通安全教育を受ける機会が少ない人が事故に遭うことが多くというデータがあります。半田市として交通安全教育を受ける機会を増やすことで、新たな被害者を生まないようにしてほしいと考えます。半田市の見解はいかがですか。

**答** 地区の敬老会や老人クラブの会合など、高齢者の皆さんが集う機会を活用した交通安全教室を行っています。

**問** 新たに被害者を生まないためにも、半田市だけではなく、警察の

力をお借りし、専門の知識を頂きながら、連携していく必要があります。半田市の見解はいかがですか。

**答** 今後は、交通安全教室のチラシを作製し、市から老人会等に開催を働きかけ、市内全域で実施できるように進めていきます。

**問** 交通事故の加害者にならないために、半田市ができる対策はありますか。

**答** 自動車を運転しないことが第一で、運転免許返納を促すことは重要と考えています。

**問** 運転免許自主返納について、半田市として積極的に進めていく考えはありますか。

**答** コミュニティバスの本格運行に合わせ、運転免許の自主返納を支援する効果的な制度を導入していきます。

**問** 警察には運転免許自主返納に関して、家族や本人が相談できる窓口がありますが、市報などでPRするなど、警察と連携していく考えはありますか。

**答** 高齢者の運転免許返納者の推進に向けた啓発活動を連携して取り組んでいきます。



日本維新の会・無所属連合 中川 健一

### 学童保育料を値下げしても、子育て支援はバラ色にならない

**問** 小学校低学年の学童保育料を大府市と同額の5千円ではなく、知多市より5百円安い9千円にした理由はありますか。

**答** アンケート調査で学童保育料が高いという意見が多く、近隣他市並みにする必要があると考えたためです。

**問** 半田市のサービス時間と東海・大府・知多市と同様の午後7時まではとすると、延長料金を含め月額約1万1千円となります。知多半島一高い学童保育料は変わりませんか。月額5千円としなかつた理由はありますか。

**答** 戦略的な価格設定も視野に入れるべきと考えています。皆様の意見を伺いながら改めてご提案をさせて頂きます。

**問** 人口89万人の大府市は学童保育の登録者が1314人です。12万人の半田市は72人で、多くの隠れ待機児童がいると想定されます。学童保育所の増設が優先ではあ

りませんか。在校児童数と利用率を基に推計したところ、成岩小学校区を除き、当面待機児童は発生しないと見込んでいます。

**問** 東海・大府・知多市の学童保育所は定時で午後7時です。半田市は午後6時30分です。名古屋市内で働く保護者が午後6時30分までに半田市内へ帰宅できますか。

**答** 今後、保護者負担を見直す中で開所時間も検討していきます。

**問** 市内13小学校区の内、6小学校区には児童センターがありません。未設置の小学校区へ児童センターを設置することを優先すべきと考えますがいかがですか。

**答** 児童センターを全て小学校区に作ることに優先されることとは考えていません。ただ小学校内に子どもの居場所作りはしていきます。

**問** 市内7児童センターの館長は4人が市役所行政職OBです。校長先経験者など子育ての専門家を任命すべきと考えますがいかがですか。

**答** 館長は施設や予算管理を行っていますので市役所OBは適任です。



創造みらい半田 久世 孝宏

### 市長の政治姿勢を問う

**問** 2月に公表された市長公約の進捗状況のうち、半田病院の「早期」建て替えについては、「公約通り」として進んでいます。建設地を変更し開院が遅れることは、公約通りではないとすることが一般的な考えだと思えますがどうですか。

**答** 建設予定地、時期が変更となりましたが、早期建設という大きな目標には変わりがないことから、公約通りと判断しました。

**問** その判断に無理があるという指摘をしていますがどう思いますか。

**答** 真摯に受け止めること、若干無理があると思えます。政治家の務めとして、実績を残すことが3割、7割は方針・政策をしっかりと説明することだと思っています。どのような病院にするか決めた時点で、あらためて説明をし、責任を果たしていきたいと考えています。



**問** 子育て支援は手段であり目的ではない。その中で、事業単体での比較や検討から提案をされても、子育て支援全体を考えなければ判断ができません。また、子育て支援をどこまで行えばよいのかもわからない。目標達成のためにどのようなことが必要で、そのために何と何を行うのか等、全体像を明確に示すべきと考えますがどうですか。

**答** 子ども子育て支援事業計画の中で、明確にすべきであったと考えます。施策体系を立てながら、事業を行っていくと聞いています。

**問** 少子化対策のために、も子育て支援の充実が必要であるのなら、出生数の目標を定めるべきと考えますがどうですか。

**答** 子ども子育て支援事業計画を見直す時には考えていきたいと思えます。

**問** 今後は総合的に子育て支援を捉え、進めてほしいと思えますがどうですか。

**答** そのような観点で子育て支援の環境を整備し、PRしていきたいと思えます。

